

この人に聞く

第39回

今回のインタビューは、瀬野川を楽しむ会の代表である中村幸春さんをお願いしました。
中村さんは本業の理容院を営むかたわら、釣り名人として有名でテレビや雑誌などでも活躍されています。
聞き手／宮坂二郎 委員長



瀬野川を学習モデル河川に

瀬野川を楽しむ会代表

なかむら ゆきはる
中村 幸春さん

瀬野川を楽しむ会はどのような活動をされているのですか。

みんなの故郷である瀬野川を美しく守り、いつまでもおいしい水を供給できるようにすることですね。

実際にきれいになっているのですか。

今日も、つくも保育所の子どもたちとシジミを採ったんですが十キロ以上取れたんですよ。ほんの五年前には考えられないことです。また、カジカやアユなどもあるんですよ。

下水道の普及が大きいのですかね。

それが一番の理由だと思います。

いますが、護岸工事の工法なども大きいと思います。川の右岸を工事するときは左岸工事は控えてもらえたとか、県と町が連携をしてくれました。貴重な生物が死んでしまうと相談したところ、設計変更をしていただいたこともあったんですよ。

普段からの活動が認められているからこそですね。

そんなことはないですけど、おかげで本当に生物が増えました。今では県内でも珍しい生物が生きているんですよ。それで、私は瀬野川を学習モデル河川にしたいと考えているんです。

と言いますと。

今は一般的に学校では川



シジミがたくさん採れました

に入って遊ぶのを禁止していますよね。でも瀬野川は水深が割と浅く、干潮時に行けば子どもでも腰くらいの深さなんです。観察するといろいろな生物がいる、すると子どもは興味と同時に親しみがわいてくるのです。そうすると自然に川をきれいにしたいと思ってくる。

る。その子たちが大人になつたときに自分の子どもにも教え伝えていく。そうなるのが理想なんです。

危ないからダメばかりでは大自然と親しむ機会を失いますからね。ところで今年も河川敷きのハゼ釣りを大会を行うのですか。

昨年までは「いいこといっぱいの日」の一環で行っていたのですが、今年は潮の干満の時間の関係で、十月十七日(日)に単独で開催の予定です。お問い合わせは八二四一一三八中村までお気軽にどうぞ。

釣りたてのハゼの天ぷらは格別ですからね。盛況であることと、今後のますますのご活躍をお祈りします。